

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」



第1号案件への投資について

～リングでキャッシュレス決済普及を進める「株式会社 EVERING」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2022年3月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド3号」は、第1号投資案件として、「株式会社 EVERING（エブリング）」へ投資いたしました。

「株式会社 EVERING」は、リング型決済用ウェアラブルデバイス「EVERING」の開発販売を行う企業です。EVERINGとは、プリペイド式のスマートリングで、Visaのタッチ決済に対応しており、専用のスマホアプリとクレジットカードを紐づけ、事前にチャージすることで、日々の決済が指先ひとつで簡単に行えるものです。また、対応したスマートロックと連携することで、リングをかざすだけでドアの解錠・施錠が可能となります。同社は、EVERINGの開発・普及により、キャッシュレス決済だけでなく、見守り機能やヘルスケア機能の実装により、あらゆる生活動線を一気に繋げ、安心安全で、便利な社会を実現することを期待されています。

京都銀行グループでは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 企業名 | 株式会社 EVERING |
| 代表者 | 代表取締役CEO 川田 健 |
| 所在地 | 東京都中央区日本橋3丁目6番2号 日本橋フロント1階 |
| 設立 | 2020年2月 |
| 事業内容 | リング型デバイスの製造・販売、および付帯する製品の輸入・販売 |

2. 投資額

99,995,555円

3. 投資について

本件投資により、「株式会社 EVERING」は、新製品の開発・販売を促進する。

4. 京銀未来ファンド3号の概要

| | |
|--------|--|
| 名 称 | 京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号) |
| 投資対象 | ・当行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業 ・当行取引先企業のDX化やサステナビリティ経営に資する事業を行う日本国内の企業 |
| 出 資 者 | 無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行 |
| ファンド総額 | 20億円 |
| 当行出資額 | 19億80百万円 |
| 設 立 | 2022年3月31日 |
| 存続期間 | 10年(2022年3月～2031年12月) |

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

